



特別企画

「藤の間」の幅 16.6メートル、高さ 3.1メートルの綴れ織の壁面装飾「麗花」は、鹿見喜陌(きよみち)画伯の原画で、39種の草花が織り込まれている。床の段通には、「麗花」の藤の花が舞い散った様子を表現している。

第7回 京都迎賓館文化サロン～綴れ織物～

第7回のテーマは「綴れ織物」です。綴れ織物とは、緯(よこ)糸(いと)に二色以上の色糸を使い、模様部分だけを織り綴るようにして模様を表した織物のこと。今回は、「藤の間」の壁面装飾「麗花」の制作・指揮を担当された(株)川島織物セルコン生産部技術顧問明文雄氏による講演に加え、綴織織下絵(「麗花」制作時に使用した織下絵)や実際に迎賓館赤坂離宮で使用されている織物の試織など、川島織物文化館が収蔵する貴重な作品の展示も行います。また、首脳会談等が行われる通常非公開の「水明の間」も含めた館内ガイドツアーを開催いたします。

令和4年 **12月10日(土)**

午前の部 9:25開門 10:05開始 12:40終了

午後の部 13:25開門 14:05開始 16:40終了

定員 各部 60名 (計 120名)

参加費用 一般：5,000円
大学生・専門学生：3,000円
中高生：2,000円

※小学生以下の方の申込みはできません。
※有効期間内の身体障害者手帳、療育手帳又は精神障害者保健福祉手帳、戦傷病者手帳又は被爆者健康手帳をお持ちの方と介護者(1名まで)は、無料となります。

集合場所 京都御苑内 清和院休憩所

申込方法 京都迎賓館ホームページからの事前予約のみ
(<https://form.geihinkan.go.jp/entry/P01?lang=ja&place=kyoto>)

※ 京都迎賓館HPのお知らせをご確認ください。

企画協力 公益財団法人京都文化交流コンベンションビューロー

国公賓等の接遇その他迎賓館の運営上の都合により中止することがありますが、その際は京都迎賓館 HP でお知らせします。

開催内容

- 「藤の間」の「麗花」制作に携わった(株)川島織物セルコン生産部技術顧問明文雄氏による講演
- 川島織物文化館が収蔵する貴重な作品の展示
- 通常非公開の首脳会談などを開催する「水明の間」を含めた館内スタッフによるガイドツアー

講師

明文雄氏

(株)川島織物セルコン 生産部 技術顧問

昭和22年京都府生まれ。
昭和47年立命館大学文学部卒業、(株)川島織物(現(株)川島織物セルコン)入社。

伝統的織物である帯地、祭礼懸装品、緞帳や、京都迎賓館の「麗花」の制作に携わる。現在はユネスコの無形文化遺産に登録されている、全国の山・鉾・屋台行事にかかわる染織品の復元・新調を数多く手掛ける。永年にわたり、関係団体の要職を務め、全国の山・鉾・屋台行事の保存・伝承に尽力し、我が国の文化財保護への多大な貢献が認められ、令和3年度文化庁長官表彰を受賞。

